

第6章 環境共生に関連することについて

【環境に配慮した取組について】

(1) 環境問題の学習活動

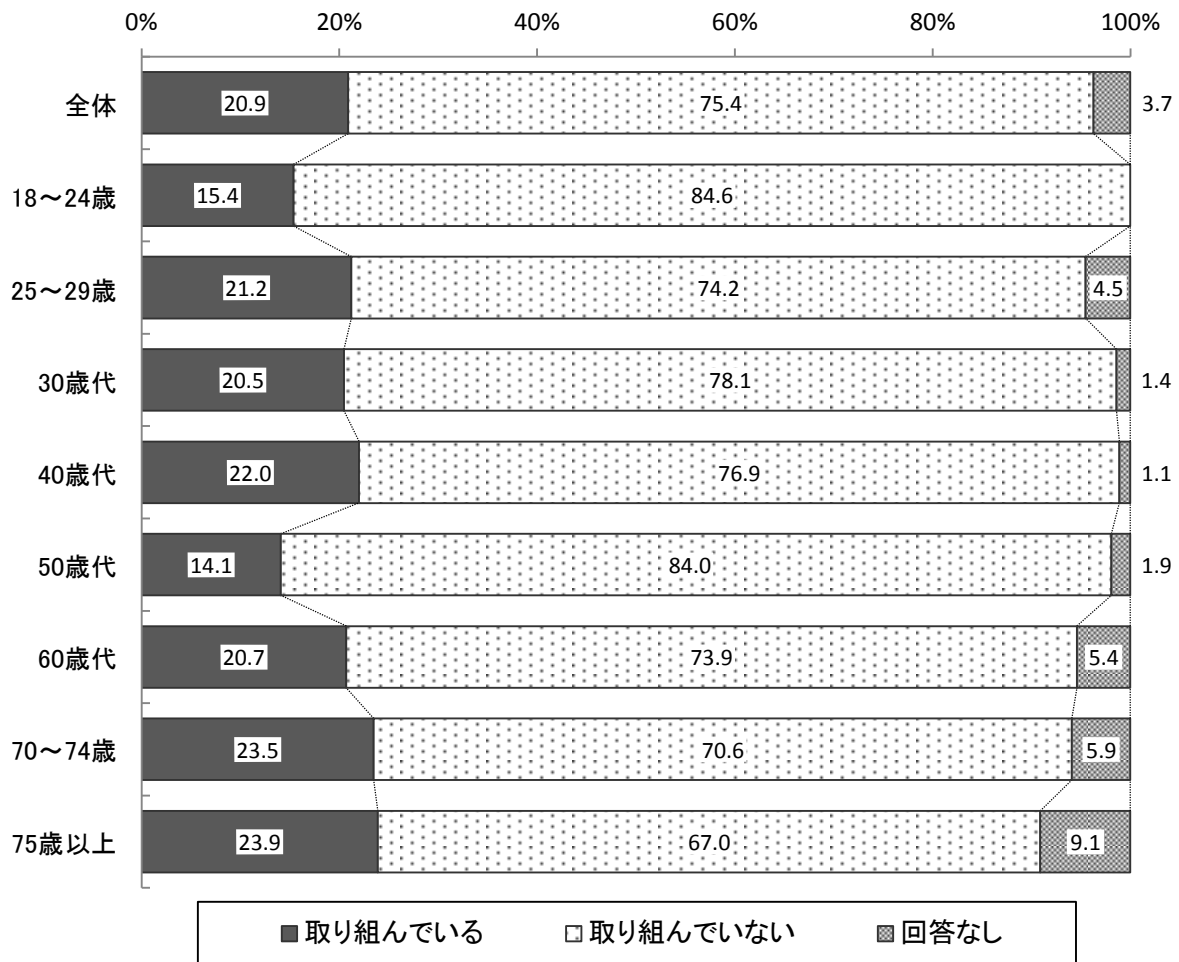
問 33 あなたは、環境問題に関心を持ち、自ら学習に取り組んでいますか。

◆ 「取り組んでいる」と回答した人は、20.9%となっています。

【年齢別にみた「環境問題の学習活動」の傾向】

○ 「取り組んでいる」と回答した人は、75歳以上で23.9%と最も高く、次いで70～74歳で23.5%、40歳代で22.0%となっています。

図 6-1 年齢別「環境問題の学習活動」



(2) 4R活動の実施状況

問34 あなたは、ごみの削減に向けた4R*を実施していますか。

※4R：リフューズ（ごみになるものを買わない）・リデュース（ごみ減量）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）の4つのこと。

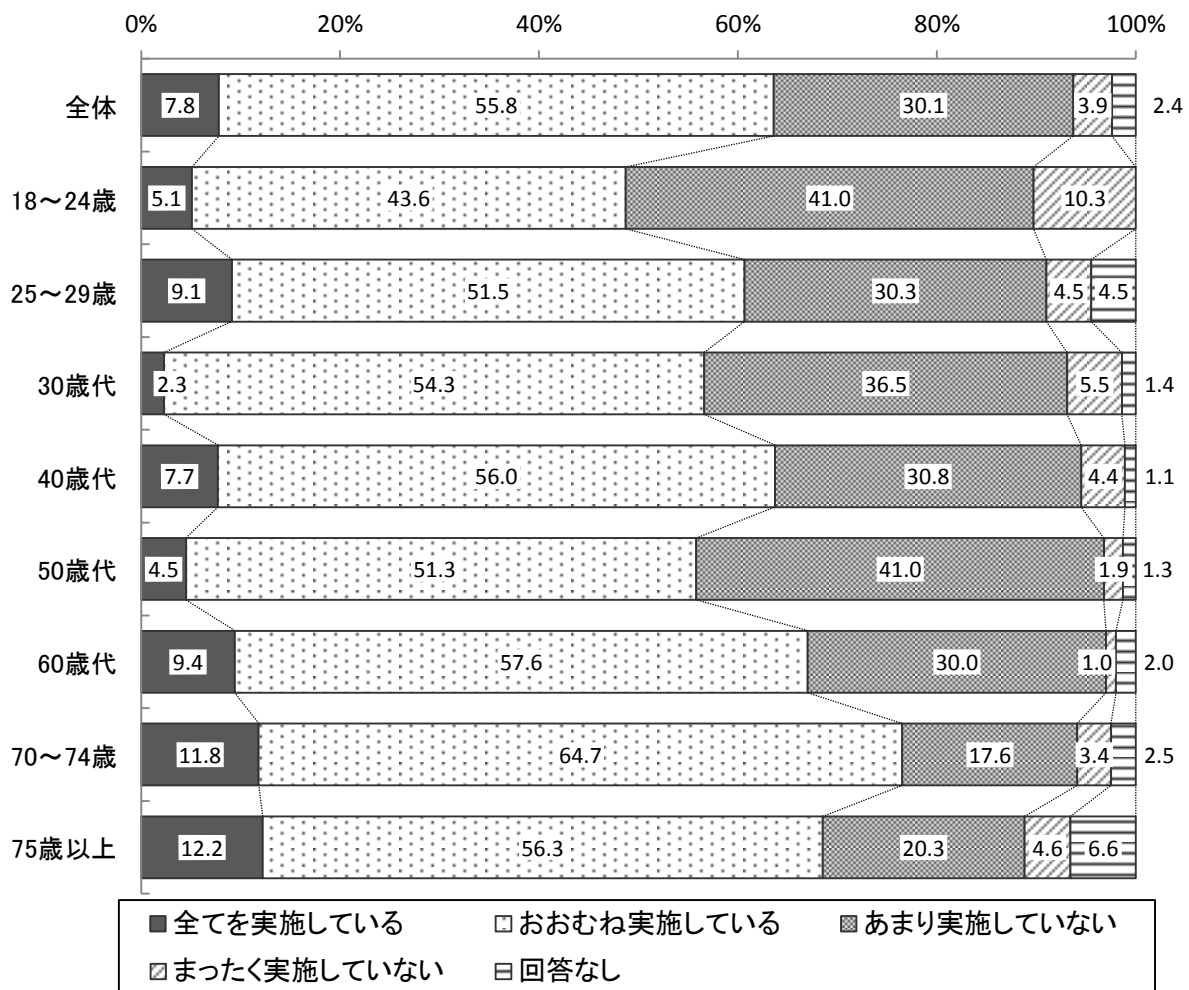
- ◆ 実施していると回答した人（「全てを実施している」、「おおむね実施している」の合計）は、63.6%となっています。

【年齢別にみた「4R活動の実施状況」の傾向】

○実施していると回答した人は、70～74歳で76.5%と最も高く、次いで75歳以上で68.5%、60歳代で67.0%となっています。

○実施していないと回答した人（「あまり実施していない」、「まったく実施していない」の合計）は、18～24歳で51.3%と最も高く、次いで50歳代で42.9%、30歳代で42.0%となっています。

図6-2 年齢別「4R活動の実施状況」



【自然環境について】

(3) 身近な緑の有無

問 35 あなたの身近なところに緑にふれあえる場所がありますか。

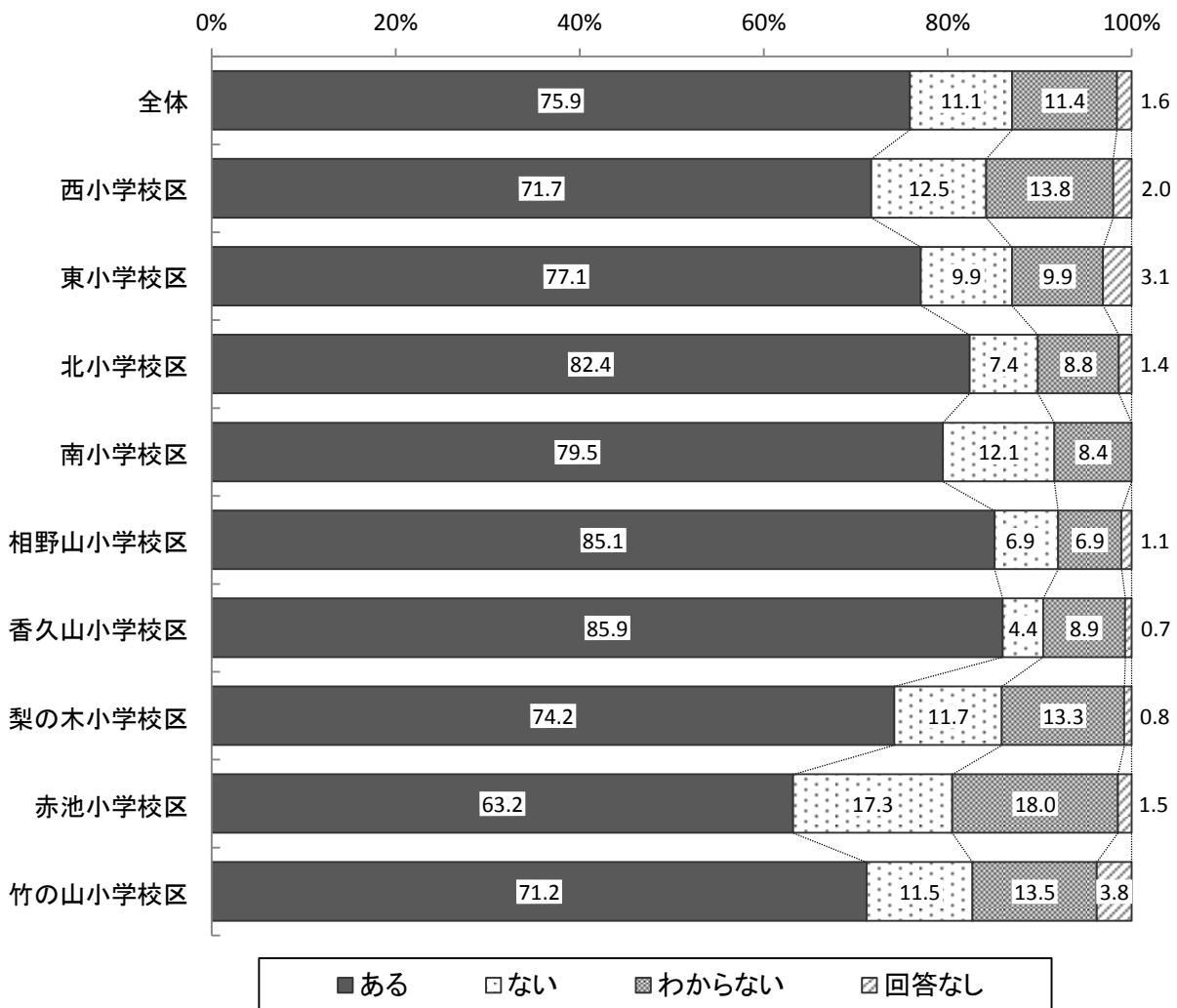
◆ 「ある」と回答した人は、75.9%となっています。

【居住小学校区別にみた「身近な緑の有無」の傾向】

○ 「ある」と回答した人は、香久山小学校区で 85.9%と最も高く、次いで相野山小学校区で 85.1%、北小学校区で 82.4%となっています。

○ 「ある」と回答した人は、全体と比べて、赤池小学校区で特に低くなっています。

図 6-3 居住小学校区別「身近な緑の有無」



(4) 身近な水辺環境の有無

問 36 あなたの身近なところに水に親しめる場所がありますか。

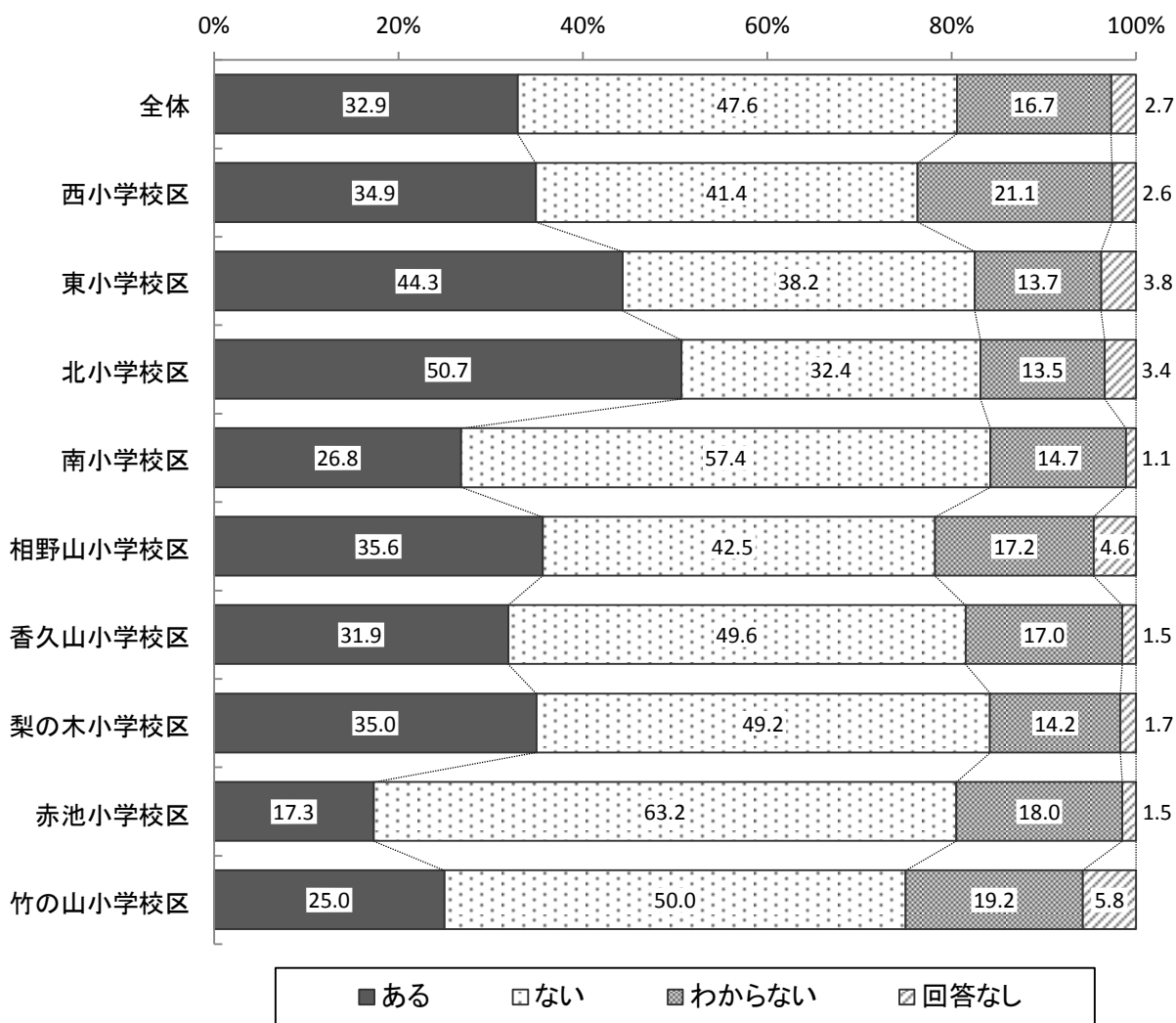
◆ 「ある」と回答した人は、32.9%となっています。

【居住小学校区別にみた「身近な水辺環境の有無」の傾向】

○ 「ある」と回答した人は、北小学校区で 50.7%と最も高く、次いで東小学校区で 44.3%、相野山小学校区で 35.6%となっています。

○ 「ある」と回答した人は、全体と比べて、赤池小学校区で特に低くなっています。

図 6-4 居住小学校区別「身近な水辺環境の有無」



【墓地について】

(5) 墓地や納骨堂の所有

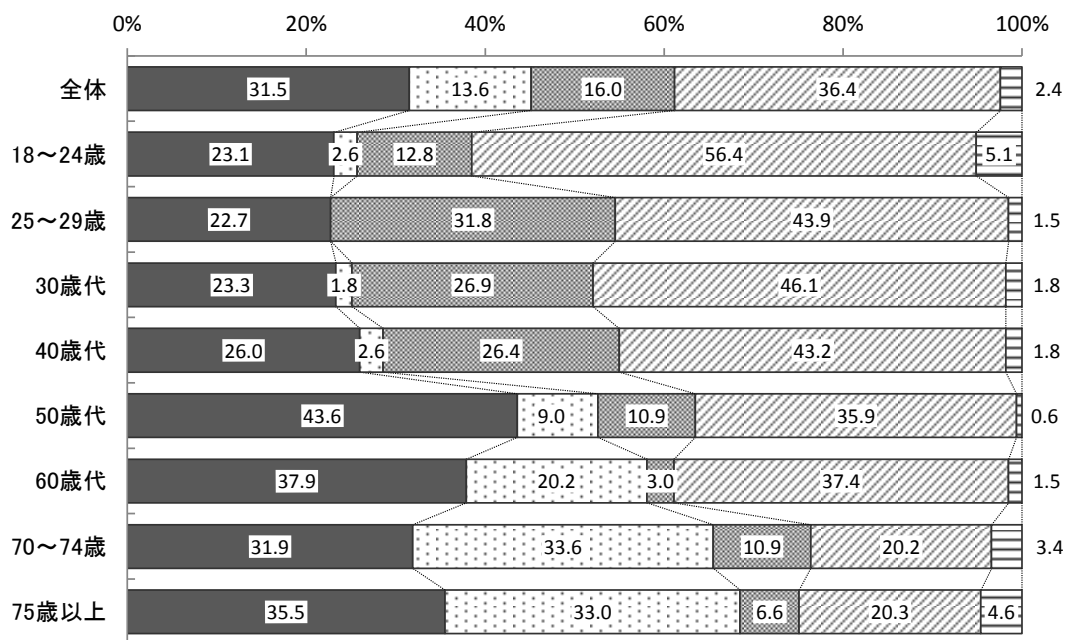
問 37 あなたは、ご自身が利用できる（受け継ぐ予定のある）墓地や納骨堂を持っていますか。
（市の内外を問いません）

- ◆ 利用できる墓地等を持っていると回答した人（「先祖の墓地や納骨堂を受け継ぎ、持っている」、「自分で新たな墓地や納骨堂を取得し、持っている」の合計）は、45.1%となっています。

【年齢別にみた「墓地や納骨堂の所有」の傾向】

- 「先祖の墓地や納骨堂を受け継ぎ、持っている」と回答した人は、50歳代で43.6%と最も高く、次いで60歳代で37.9%、75歳以上で35.5%となっています。
- 「持っていないし、受け継ぐ予定もない」と回答した人は、18～24歳で56.4%と最も高く、次いで30歳代で46.1%、25～29歳で43.9%となっています。また、年代が上がるにつれて概ね減少傾向にあります。
- 「自分で新たな墓地や納骨堂を取得し、持っている」と回答した人は、60歳代以上で特に高くなっています。

図 6-5-1 年齢別「墓地や納骨堂の所有」

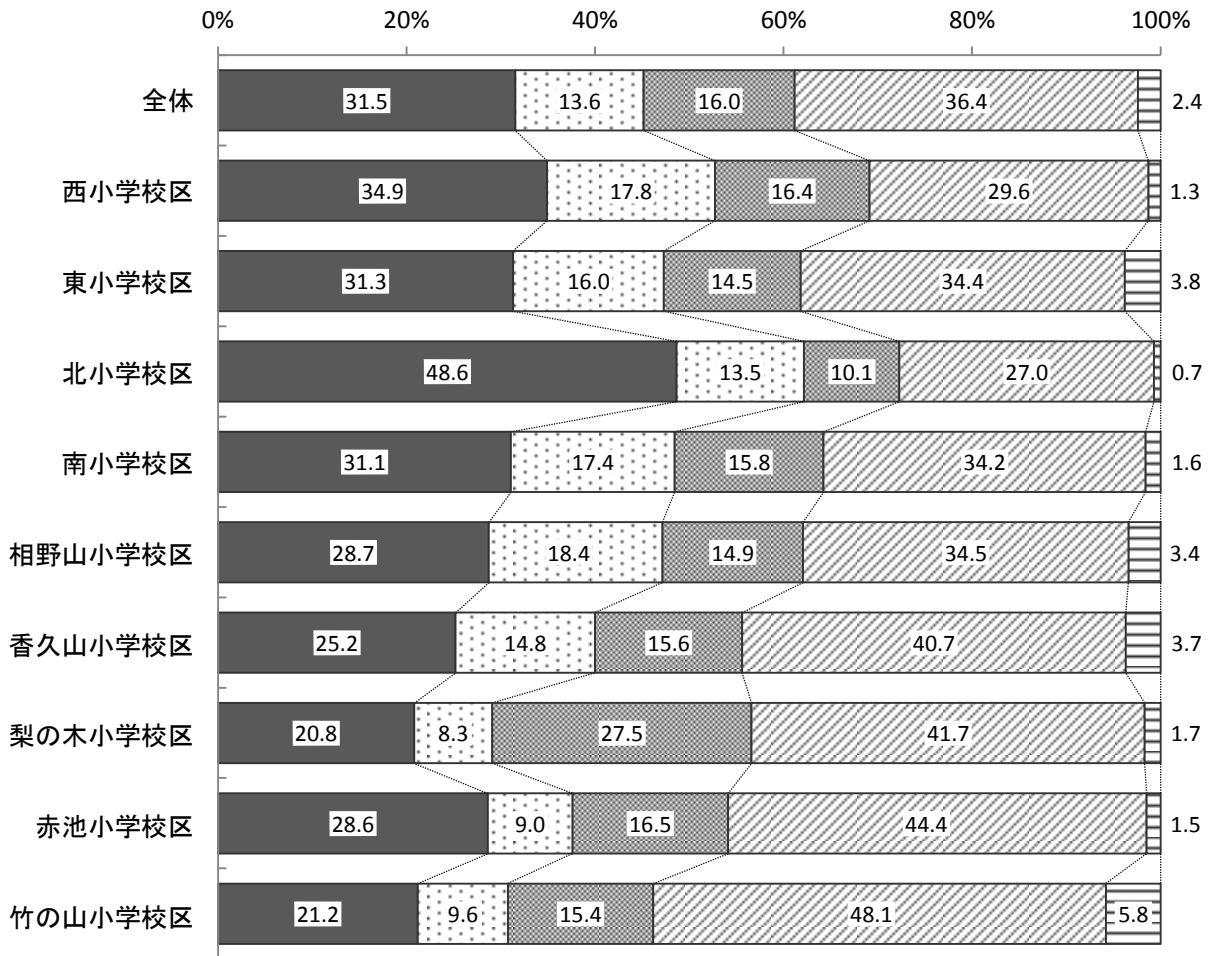


- 先祖の墓地や納骨堂を受け継ぎ、持っている
- ▨ 自分で新たな墓地や納骨堂を取得し、持っている
- ▤ 現在は持っていないが今後購入予定、または親族などから墓地や納骨堂を受け継ぐ予定である
- ▧ 持っていないし、受け継ぐ予定もない
- 回答なし

【居住小学校区別にみた「墓地や納骨堂の所有」の傾向】

- 「先祖の墓地や納骨堂を受け継ぎ、持っている」と回答した人は、北小学校区で48.6%と最も高く、次いで西小学校区で34.9%、東小学校区で31.3%となっています。
- 「持っていないし、受け継ぐ予定もない」と回答した人は、竹の山小学校区で48.1%と最も高く、次いで赤池小学校区で44.4%、梨の木小学校区で41.7%となっています。
- 「現在は持っていないが今後購入予定、または親族などから墓地や納骨堂を受け継ぐ予定である」と回答した人は、全体と比べて、梨の木小学校区で特に高くなっています。

図 6-5-2 居住小学校区別「墓地や納骨堂の所有」



- 先祖の墓地や納骨堂を受け継ぎ、持っている
- 自分で新たな墓地や納骨堂を取得し、持っている
- ▣ 現在は持っていないが今後購入予定、または親族などから墓地や納骨堂を受け継ぐ予定である
- ▤ 持っていないし、受け継ぐ予定もない
- ▨ 回答なし

(6) 墓地や納骨堂の形態

問 38 あなたは、将来の墓地や納骨堂の形として、どのような形態がよいと思いますか。

※芝生型の墓地：一面芝生の平坦地に、等間隔に墓石を置いた仕切りのないお墓のこと。

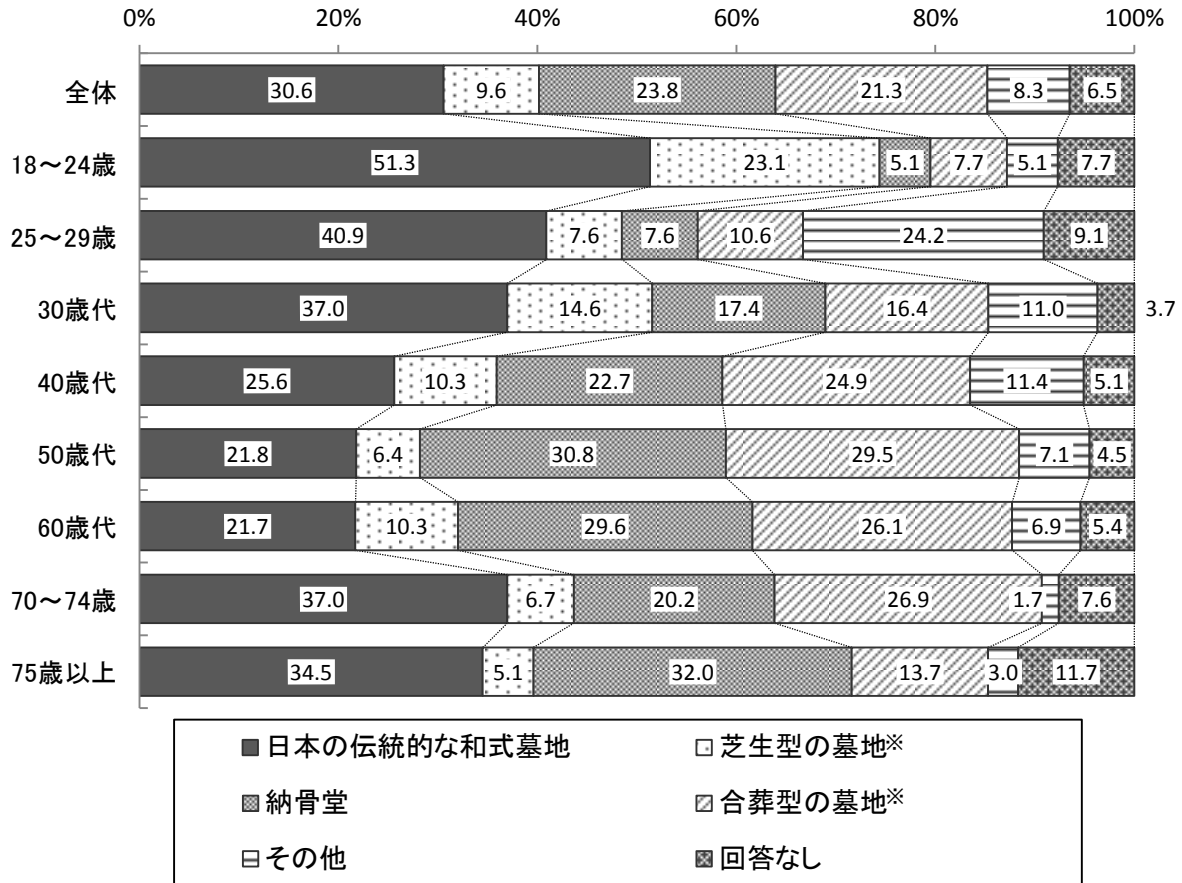
※合葬型の墓地：樹木型（墓石の代わりに樹木を墓標とし、その周囲に多くのご遺骨を埋蔵する形式のお墓のこと。）や慰霊碑型（墓石の代わりに慰霊碑等のモニュメントを墓標とし、その周囲に多くのご遺骨を埋蔵する形式のお墓のこと。）など、多くのご遺骨を共同で埋蔵するお墓のこと。

- ◆ 「日本の伝統的な和式墓地」と回答した人が 30.6%と最も高く、次いで「納骨堂」が 23.8%、「合葬型の墓地」が 21.3%となっています。

【年齢別にみた「墓地や納骨堂の形態」の傾向】

- 「日本の伝統的な和式墓地」と回答した人は、18～24歳で 51.3%と最も高く、次いで 25～29歳で 40.9%、30歳代と 70～74歳で 37.0%となっています。
- 「納骨堂」と回答した人は、75歳以上で 32.0%と最も高く、次いで 50歳代で 30.8%、60歳代で 29.6%となっています。
- 「合葬型の墓地」と回答した人は、50歳代で 29.5%と最も高く、次いで 70～74歳で 26.9%、60歳代で 26.1%となっています。
- 「芝生型の墓地」と回答した人は、全体と比べて、18～24歳で特に高くなっています。

図 6-6-1 年齢別「墓地や納骨堂の形態」



【居住小学校区別にみた「墓地や納骨堂の形態」の傾向】

- 「日本の伝統的な和式墓地」と回答した人は、西小学校区で38.8%と最も高く、次いで東小学校区で33.6%、梨の木小学校区で31.7%となっています。
- 「納骨堂」と回答した人は、赤池小学校区で29.3%と最も高く、次いで梨の木小学校区で28.3%、北小学校区で26.4%となっています。
- 「合葬型の墓地」と回答した人は、南小学校区で28.9%と最も高く、次いで相野山小学校区で27.6%、香久山小学校区で23.0%となっています。

図 6-6-2 居住小学校区別「墓地や納骨堂の形態」

